

## レーザーICP質量分析法でみた貝化石表面

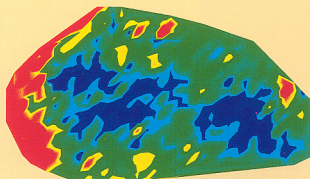
近年大きく進展した微量・微小分析技術により地球化学の分野で大きな進歩があった。これにより貝化石のような固体試料を直接レーザーで気化してICP質量分析法で高感度に分析することができるようになった(本文参照)。下の例は貝化石(カリガネエガイ)を0.1mmの分解能で局所分析し元素の濃度分布図を求めたものである。(上)貝化石試料、(中)Alの分布、(下)Pbの分布。これにより過去の堆積環境を推定したり、また貝化石の年代測定をするときの基礎データとすることができる。(地質調査所地殻化学部 今井 登)

貝化石(カリガネエガイ)

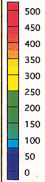


1 cm

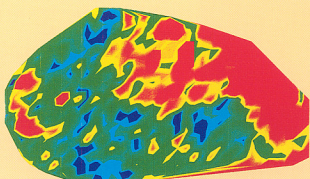
Al



Al, ppm



Pb



Pb, ppm

